

—看護師の働き方改革—

「髪色は明るくしてはいけない？」身だしなみルールの緩和を求める声も

看護師・病院利用者・病院幹部のホンネを徹底調査

11の「ふしぎなナース文化」

病院独自のルール、約半数の看護師が意図理解せず

社会全体で見直す機会を

テラード技術を取り入れた白衣を中心に、医療用品の企画・開発・販売を行うクラシコ株式会社(東京都港区、代表取締役社長:大和 新)は、看護師に対する病院ごとに存在する独特なルールや慣習(=「ふしぎなナース文化」)の存在を顕在化し、必要有無の議論を通して看護師がより生き生きと働ける環境づくりを呼び掛けるため、看護師・病院利用者・病院幹部を対象に「ふしぎなナース文化に関する調査」を実施いたしました。

生命に関わる重要な仕事を担う職業柄、看護師には衛生面を考慮して様々な制約が付きまといまいます。一方で、そういった制約の中には「時代錯誤なのではないか?」「なぜ決められているのか理由が分からない」など、看護師が意図を理解できないまま残っている「ふしぎなナース文化」があることが見受けられました。日々感じるこうした葛藤や不満が「看護師の働きにくさ」に繋がってしまっていることから、クラシコは、「ふしぎなナース文化」について社会全体で考え直すきっかけを作りたいと思いました。

「ふしぎなナース文化」を取り巻く関係者たち、つまり看護師、病院利用者、ルール・慣習を作っている病院幹部、それぞれの意見をきくと、お互いの認識にギャップがある様子が見えてきました。“本当に残さなくてははいけないルール”は現場の看護師にその必要性を浸透させ、反対に、“変えてもいいルール”は相談しながら少しずつ緩めていく。看護師がストレスを感じる「ふしぎなナース文化」の数を減らしていくことで、今よりも働きやすい医療現場を作ることができると考えています。

クラシコは、「白衣は着心地が悪い」という既成概念を覆すような、医師や看護師の方々の仕事のモチベーション向上につながる、デザイン性と機能性を兼ね備えた白衣をはじめとする医療ウェアを提供しています。本調査をきっかけに、看護師の働き方を気遣う声が増え、少しずつ変革の輪が広がっていきますように。看護師が少しでも楽しく働ける世界になるよう、クラシコは今後もサポートしてまいります。

調査概要

調査名 : ふしぎなナース文化に関する調査(看護師)
日時 : 2022/4/16~2022/4/18
対象 : 全国の病院・クリニックに勤務している20代~50代の看護師の男女400名
調査手法 : インターネット調査

調査名 : ふしぎなナース文化に関する調査(病院利用者)
日時 : 2022/5/2~2022/5/9
対象 : 全国の病院・クリニックに1年以内に通ったことのある20代~70代の男女400名
調査手法 : インターネット調査

調査名 : ふしぎなナース文化に関する調査(看護管理者)
日時 : 2022/7/7~2022/7/15
対象 : 看護管理者(看護師長以上)25名
調査手法 : インターネット調査

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

クラシコPR事務局 担当: 齋藤・山田・島田・針谷

TEL: 03-5572-6072 Mail: classico_pr2022@vectorinc.co.jp

11の「ふしぎなナース文化」が浮き彫りに

全国の病院・クリニックに勤務している400名の看護師に対し「あなたが働く病院で、疑問や不満に思っているルール・慣習」について聞いたところ、11の「ふしぎなナース文化」を抽出することができました。

1. 髪色は明るくしてはいけない？
2. 靴下・下着は白でなければいけない？
3. 看護服は上下とも白でないといけない？
4. 髪を結ぶシュシュやヘアゴムは、黒や茶など地味な色でないといけない？
5. 女性はまつげエクステをしてはならず、男性はひげを生やしてはいけない？
6. 寒い冬でも、半袖のナース服から出る防寒インナーや患者の前でのカーディガンはいけない？
7. 通勤時の服装も地味でなければいけない？
8. ナースステーションでは水分補給ができず、飲みものの種類にも制限がある？
9. 休憩時間であっても、病院外に出ることはゆるされない？
10. 看護師は移動にエレベーターを使用してはいけない？
11. SNSで投稿したり、友達の投稿にいいねしたりしてはいけない？

もちろん、病院ごとに差は大きく、11のルール全てを経験していない看護師もいるはずです。

一方で、中には「おしゃれ染めはもちろん、白髪も黒に染めなくてはならない」「たまに通勤時の服装チェックがある」と、さらに細かな制約があるとの声や、「ナースシューズは配給だが、靴擦れなどおきやすい人もいるため指定のナースシューズは時代にそぐわない」と、実体験からの不満の声も上がりました。

※次ページの議論シートは、下記URLよりダウンロードいただけます。

https://drive.google.com/file/d/1w_G7YFioEZdiWl5Jv3d-hoj1DGcqYo1a

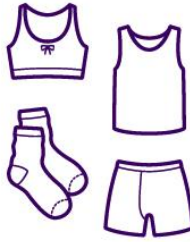
議論しよう。11の「#ふしぎなナース文化」

1. 茶髪はダメ?



髪色は明るくしてはいけない?

2. 下着の色は指定?



靴下・下着は白でなければいけない?

3. 看護服は選べない?



看護服は上下とも白でないといけない?

4. 髪飾りも指定?



髪を結ぶシュシュやヘアゴムは黒や茶など地味な色でないといけない?

5. おしゃれはダメ?



女性はまつげエクステをしてはならず、男性はひげを生やしてはいけない?

6. 防寒着はダメ?



寒い冬でも、半袖のナース服から出る防寒インナーや患者の前でのカーディガンはいけない?

7. 通勤服に制限?



通勤時の服装も地味でなければいけない?

8. 水分補給も制限?



ナースステーションにいる間は水分補給をしてはならず、飲んでいい飲み物の種類にも制限がある?

9. 外休憩はダメ?



休憩時間であっても、病院外に出ることはゆるされない?

10. エレベーターはダメ?



看護師は移動にエレベーターを使用してはいけない?

11. SNSはダメ?



SNSで投稿したり、友達の投稿にいいねしたりしてはいけない?



看護師への
共感・応援の声
募集中

Classico

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

TEL : 03-5572-6072 Mail : classico_pr2022@vectorinc.co.jp

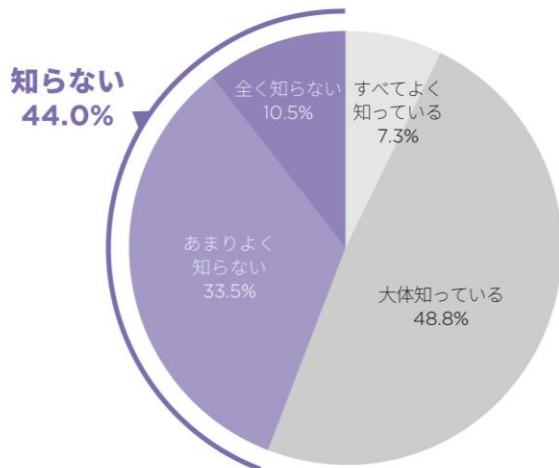
半数近くの看護師が「ふしぎなナース文化」の存在理由を知らず。 「仕事に行きたくない・辞めたい」、意欲が削がれた看護師は4割

看護師に対して、自分の勤務する病院に存在する独特な慣習・ルールの存在意義や理由を知っているかどうか聞いたところ、「あまりよく知らない」（33.5%）、「全く知らない」（10.5%）と回答した人を合わせると44.0%と半数近くに上りました。多くの看護師が理由が分からないまま、病院独自のルール・慣習に従っている状況にあることがわかります。

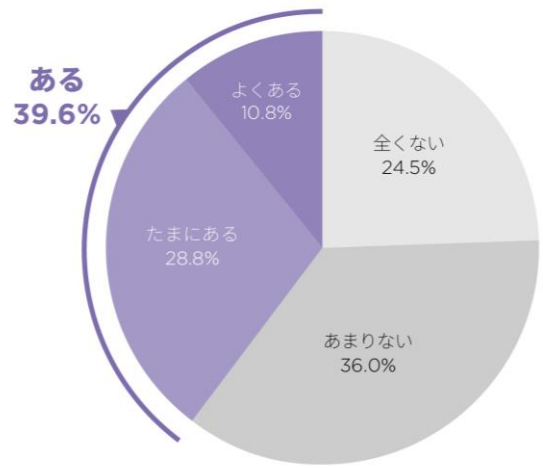
その結果、「ふしぎなナース文化」が“働きづらさ”に繋がってしまっているケースは少なくないと考えられます。実際に、こうしたルール・慣習のせいで仕事に行きたくない・辞めたいなど労働意欲がそがれたことがあるかどうか聞いたところ、「よくある」（10.8%）、「たまにある」（28.8%）と回答した人を合わせると39.6%と、4割を占めました。

理由の分からない病院独自ルール・慣習への不満が、仕事へのモチベーションの低下に繋がり、離職に発展するケースもあることが考えられます。

「ふしぎなナース文化」の
存在理由を知らない看護師の割合



ルール・慣習のせいで仕事の
意欲がそがれたことがある看護師の割合



＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

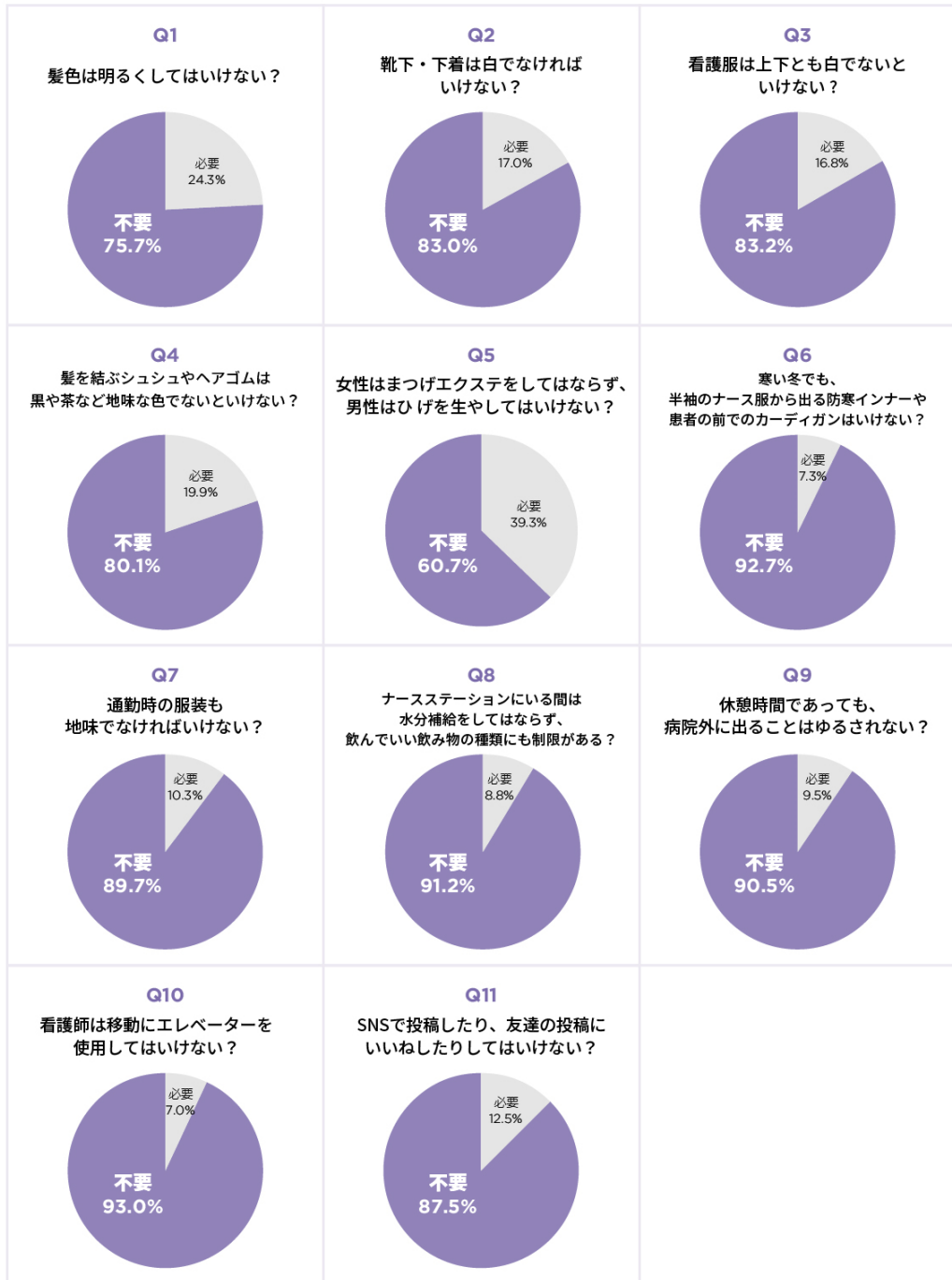
クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

TEL : 03-5572-6072 Mail : classico_pr2022@vectorinc.co.jp

②利用者の声

「ふしぎなナース文化」は病院利用者のため？ 病院利用者の8割以上は「不要」なのではとの回答

病院利用者400名に対し、看護師から挙げた11の「ふしぎなナース文化」について、「そう思う（ルールは必要）」か「そうは思わない（ルールは不要）」かを問うアンケートを実施いたしました。その結果、全ての回答で6割以上が「ルールは不要」と答える結果に。11のルールの平均を取ると、平均8割以上（84.4%）の人が「ふしぎなナース文化」を不要と考えていることが明らかになりました。



<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

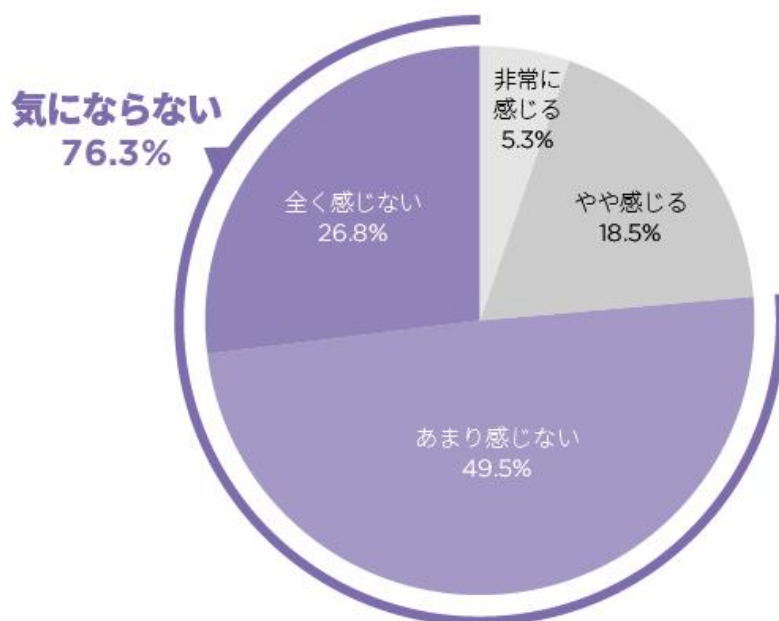
TEL : 03-5572-6072 Mail : classico_pr2022@vectorinc.co.jp

身だしなみ・服装に関するルールに従ってなくても特に気にならない人が7割超

また、11の「ふしぎなナース文化」のうち7つを身だしなみ・服装に関するルールが占めています。そうした身だしなみ・服装を看護師がしていなかった場合「清潔感がない・不快だと感じるか」と聞いたところ、「非常に感じる」（5.2%）「やや感じる」（18.5%）と不快感を感じる人は23.7%に留まる一方、「あまり感じない」（49.5%）「全く感じない」（26.8%）と、身だしなみ・服装に関するルールに従ってなくても特に気にならない人は7割を超える（76.3%）結果となりました。

「ふしぎなナース文化」に挙げられているものの中には、下着や靴の色など、病院利用者からの見え方を気にして指定されているものも多いと考えています。大半の病院利用者が“気にしていない”ことが明らかになった今、身だしなみ・服装に関する「ふしぎなナース文化」は残すべきか緩めるべきか、見直す余地があると分かりました。

身だしなみ・服装に関するルールに従っていないと 清潔感がない・不快と感じるか？



<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

TEL : 03-5572-6072 Mail : classico_pr2022@vectorinc.co.jp

③病院幹部の声

11の「ふしぎなナース文化」には、衛生面・患者のために必要なものもある

病院幹部である看護管理者（師長以上）25名に対し、看護師から挙がった11の「ふしぎなナース文化」についての意見を問うアンケートを実施いたしました。

「ふしぎなナース文化」として挙がった中には、命を預かる責任から必ず守らなければならないものもあるとの意見が多く寄せられました。意図を理解していない現場看護師が4割を超える中、現場への浸透が足りていない状況があるようです。

一方で、身だしなみに関しては、必ずしも衛生面など確固たる理由があるわけではなく、周りの目を意識して残されているものも多く存在しました。そのため、病院ごとに規制の強さの強弱があり、独自ルール化していると考えられます。また、「常識的な範囲が分からないだろうから全面禁止」「指定しないと清潔感や誠実さがなくなってしまうだろう」といったように、現場看護師に対する先入観で極端に縛ってしまっている例も見受けられました。

「実は重要な理由があって必要」

実際の声



水分補給

感染予防の観点から水分補給は、ナースステーション以外の場所で行わせたい。



カーディガン

感染面でNG 何のためのユニフォームか考えないと。



外出制限

トラブル発生しても迅速に対応できない。

「リスク回避のため全面禁止」

実際の声



シュシュ

装飾を認めた場合、適度な範囲を逸脱して解釈することがあるため



髪色

社会的に容認されるのにもう少し時間がかかる



外出制限

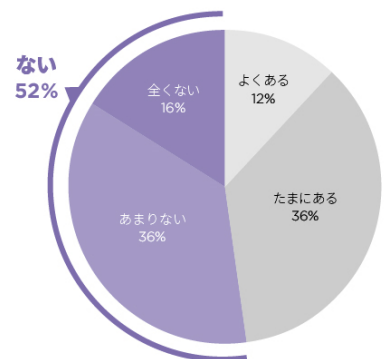
労働災害に関わることは、回避すべき。

厳しすぎるルールの背景には「対話の不足」

ルールについて看護師たちと話し合ったり、意図を説明して理解を図ったりするような機会があるかどうか聞いたところ、あまりない・全くないと答えた人は52%と約半数に上りました。

注意喚起で解決することを、罰則も生じるようなルールで必ずしも縛る必要があるのか。理解を図るための現場看護師との対話、そして利用する一般の方々との対話が不足している可能性が考えられます。

ふしぎなナース文化にあるようなルールについて、看護師たちと話し合ったり、意図を説明して理解を図ったりする機会があるか？



まずは身だしなみから。変わり始める病院

昨今、身だしなみに関するルールを緩める動きが一部の現場であることも伺えました。業務に影響を与えない範囲で、暗黙のルールを見直し、看護師の自由を広げる動きが少しずつ広がっています。

あなたの勤める病院内で、実際にここ数年で変えたルールはありますか。（実際の回答）

- ・ 身だしなみに関してはかなりゆるいものになりました。髪色、カーディガンの色、髪の毛をまとめるもの、色、靴下の色など
- ・ ユニフォームは白でなければならないという院長の暗黙のルールをスクラブに変えカラーにしました
- ・ ナースシューズは、白をベースとするがラインやポイントは良い。色を白とすると汚れや血液付着がわかるので清潔保つ意味があるが、自由度を広げた。ストッキングの色は白でなく肌色も可とした。

「時代錯誤」「業務に支障がなければ行動は自由であるべき」 身だしなみ・服装から変革を

「ふしぎなナース文化」を知った病院利用者からは、「業務に支障がなければ行動は自由であるべき」「時代遅れ」「過剰な規制は必要ない」「不自由を感じないで仕事をしてほしい」といった声が寄せられました。

看護師が少しでも楽しく働けるよう、ルールを可能な部分から緩和していてもよいのではないのでしょうか。

「ふしぎなナース文化」をどう思いますか

「靴やナース服を常識の範囲内で、自分が好きなものを着用できると嬉しい」

「髪型がもう少し自由だと気分が上がりそう」

「ピアスや髪の色は時代に合わない」

「清潔感があればある程度は個人の自由でもいいと思う」

「パラメディカル、医師、医事課などは自由なのに」

看護師についてはうるさく言われ病院の評価につながるなどと言われる」

「職場でここからここまでと具体的に掲示してほしい」



「靴は白色と決めているのを考えてもいいかもしれないと感じた」

「靴下やカーディガンの色指定そろそろ個性が出てもいい時代だと思う」

「時代に合わせて臨機応変に対応したい」

「何の意味があるのだろうかと感じてしまう」 (20代男性)

「患者の迷惑にならなければ自由でいいと思う」 (30代女性)

「意味のない規制は不要だと思う」 (40代男性)

「時代遅れ」 (50代男性)

「業務に支障がなければ行動は自由であるべき」 (60代男性)

「そこまで厳格に縛りつける必要はないと思います」 (60代女性)

「不自由を感じないで仕事をしてほしい」 (70代女性)



<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

TEL : 03-5572-6072 Mail : classico_pr2022@vectorinc.co.jp

賛同者の声

一般社団法人 看護職の採用と定着を考える会 理事 中島美津子様

Web3.0時代の到来、まだこんなことやってんの？と世間に知られることは進化のきっかけになります。コロナ下で世界に恥を晒した日本のfax・紙文化。でもそのお陰で今は随分と変化した医療界。本結果も、笑ってしまいますが、今後の進化が期待できます。ただ先輩たちが織り成してきた文化を否定してはいけません。先人たちの文化があるからこそ、今の文化が存在するわけで、根拠のないルールが全て不要ということではありません。もっと看護師として誇りをもって人生を謳歌できるための更なる変化への起爆剤としての本結果の活用が期待されます。



株式会社ファミワン 代表看護師／不妊症看護認定看護師 西岡有可様

毎日着るユニフォームが、患者様にとって清潔と安心を示すものであり、看護師にとって働きやすさやモチベーションにつながるものであれば、それは医療の質にもつながる革命なのではないでしょうか。

憧れのクラシコのユニフォームを着て、今日も患者様の元に向かう。そう考えただけで、毎日の臨床が少しだけワクワクする。そんなユニフォームがこれからの時代には必要だと考えています。



看護服の実態と、クラシコが提供する“看護師に寄り添う看護服”

看護師が毎日身にまとう看護服。

調査を通して、看護服に関しても「病院指定のものを着用しなければならない」（53.8%）、「看護服は自分の希望するタイミングで買い換えられない」（31.3%）、「看護服のデザインを要望することはできない」（27.5%）など、不自由な状況があることが分かりました。

クラシコでは、デザイン・素材・縫製全てにこだわりぬき、医療関係者の働く意欲を高めるような「美しさ」と「着心地の良さ」を兼ねそなえた白衣をはじめとする医療ウェアを提供してきました。特に看護服については、上質さと機能性を兼ね備えたスタイリッシュなスクラブのほか、人気ルームウェアブランドgelato pique（ジェラート ピケ）とコラボレーションした看護服「ジェラートピケ&クラシコ」を展開しています。

着心地のいい看護服がより多くの看護師に行き届き、まずは看護服から、少しでも看護師が働きたいと思える世界に。今回の調査のように、クラシコは前時代的な発想とデザインが横行する医療現場に新しい風を吹き込み、みんなが「こうだったらいいのにな」と思う理想を現実化していきます。

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

TEL：03-5572-6072 Mail：classico_pr2022@vectorinc.co.jp



Classico

会社名：クラシコ株式会社

代表取締役社長：大和 新(おおわ あらた)

設立：2008年

本社所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂9-5-12 パークサイドシックス 2F/B1F

事業内容：メディカルアパレルの企画・開発・販売

MISSION：世界中の医療現場に、人間的で、感性的で、直感的な革新を生む。

「世界中の医療現場に、人間的で、感性的で、直感的な革新を生む。」をミッションに展開する
2008年設立のメディカルアパレルブランド。

「なぜかっこいい白衣がないのか？」という医師の一言からスタート。

イタリアンテーラード仕立てのスタイリッシュな白衣をはじめとする医療ウェア、
聴診器やシューズなど、メディカルアパレルの企画・開発・販売を行っている。

コーポレートサイトURL：<https://classico.co.jp/>

オンラインストアURL：<https://www.clasic.jp/>

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

クラシコPR事務局 担当：齋藤・山田・島田・針谷

TEL：03-5572-6072 Mail：classico_pr2022@vectorinc.co.jp